

松田麻美子の超健康革命 (Super Health Revolution)

SHR NEWSLETTER No.80
ニュースレター

[発行] ©超健康革命の会

[事務局] 東京都品川区大井1-23-7-4F

グスコ出版内 〒140-0014

(2019年1月号) Tel/Fax 03-3775-4503 (12:00~18:00)

SINCE 2002

<<http://natural-hygiene.org/>>

E-mail/shr-info@natural-hygiene.org

「巻頭メッセージ」は、実際に診療・治療にあたっておいで臨床医の皆様にご投稿いただいています。ご登場される皆様は、「ナチュラル・ハイジーン」に100%基づいた治療を施されているわけではありませんが、「ナチュラル・ハイジーン」のを知り、理解されておいでの方たちです。

今回ご登場の真柄俊一(まがら・しゅんいち)先生は、「食事療法」「メンタルケア」「刺絡療法(鍼治療の一種)」の三

本柱でガン患者さんの治療にあたり、大きな成果をあげています。松田麻美子先生の著書『50代からの超健康革命』(グスコ出版)を100冊単位で何回も購入、初めて診療に来られた患者さんに先生自ら「必読書」として手渡されています。

なお、真柄先生のクリニック(素問(そもん)八王子クリニック)の連絡先は、TEL:042-660-0403です(完全予約制)。

Message
from
SHR

「食事」最重視で自然治癒力を引き出し、ガンを治す!

真柄俊一(ガン専門医院「素問八王子クリニック」院長)

私は「日本自律神経免疫治療研究会」の会員として、自然治癒力をベースにした「ガン専門医院」としてのクリニックを2003年に開業しました。

開院以来、これまでのカルテ総数は3500を超えています。進行ガンの成長が停止したとか、ガンが消失したというケースを数多く見てきました。中でも特に大きな成果があらわれた症例として、左右の肺にあった200個以上の肺腺ガンがわずか4か月間で消失したケースがあります。

昨年11月4日、東京・神保町で開催された「日本総合医学会・全国大会2018」に於いて、1時間の講演をさせていただく機会がありましたが、この症例について100枚以上のスライドを使って、ご紹介しました。

ほかにも、余命告知された末期ガンが消えてしまった画像を時間の関係で2例だけお見せしたのですが、後日、大会事務局長から「アンケート調査の結果、講演に対してたいへんな反響があった」旨のご連絡をいただきました。

「がんセンター」などの専門病院で余命告知された患者さんが何人も元気になったのですから、みなさんが驚かれたのも不思議ではありません。

私の治療法の中心にあるのは、**食事療法**です。私たちの体は食べた物によってできているのですから、健康にとって食事こそ最も重視すべきなのは当然のことでしょう。

私が次に重視しているのは、**気持ちの持ち方**です。精神面の指導によって遺伝子の働きさえ良い方向に向かわせることができるし、実際に私の患者さんに対して、ガンに関係した遺伝子の働きが大きく改善

されていることが証明されています。

私が併用している**鍼治療**も遺伝子の働きを改善するのに役立っています。

絶対に忘れてはいけないこととは、**体に害のあるものを拒否すること**です。西洋医学で使用している薬品のほとんどは化学合成したものであり、そもそも本来は地球上に存在しない物質です。

私たち生物は、地球上に存在する物質を食べることによって進化してきたのであり、人間が勝手に作り出した物質に対しては、遺伝子が正しく対応できず、毒物として働く可能性が高いのです。このような考え方は、松田麻美子先生が強調しておられる「ナチュラル・ハイジーンの考え方」とも一致しているのではないのでしょうか。

アメリカの医師会ジャーナルに発表された論文によると、2005年から2015年における「ガン罹患率の変化」についての調査(195か国対象)で、ガン患者がこの10年間で20%以上の増加が認められた国はわずか6か国しかありません。不名誉なことに、日本はその中の一つになってしまいました。

お隣の中国は同じ10年間で10%以上減少していて、注目を集めることになりました。なぜ、このようなことが起こったのでしょうか。

中国はアメリカの協力を得て、1981年から10年の歳月をかけ、「チャイナ・プロジェクト」と呼ばれる大規模な疫学調査を行ないました。その調査結果は1991年に論文として発表されましたが、この研究を主導した中心人物こそ、コーネル大学栄養生化学部名誉教授のT・コリン・キャンベル博士です。

中国は研究対象の当事国だったので、世界の中で